

平成 29 年度第 1 回 枝幸町まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者会議

【開催日時】 平成 29 年 6 月 12 日（月） 10：30～

【開催場所】 枝幸町役場 3 階第 1 会議室

【出席者】 有識者委員 10 名（4 名欠席）
枝 幸 町 事務局（企画政策課 2 名）

総合戦略進捗状況全般に関する委員からの意見等

■委員（質問）

町内では、アパートが不足している状況である。事業者からも民間賃貸住宅建設促進事業の問い合わせがあるが、今後の事業展開はどのように考えているのか。

●事務局回答

町条例により平成 29 年度までの時限事業としているが、今のところ事業を再開する予定とはなっていない。

■委員（質問）

子育て支援の充実の不妊治療費助成事業での助成額は？

●事務局回答

北海道の 30 万円に上乗せする形で、町が 15 万円を上限に助成を行っている。

■委員（質問）

中心市街地の空き店舗等の活用で、平成 27 年度の新規創業者に 4 件に対して、廃業が一軒となっているがその内容を教えてほしい。

●事務局回答

廃業の理由は、台風の被害によって屋根が飛ばされたことがきっかけで、その補修を行い事業継続することが困難であるとの判断による。

■委員（回答を受けて再質問）

やはり、自身がビジョンを持ち町の助成を受けて開業していることから、屋根が飛ばされた被害だけで廃業するのは少し甘いのではないか、また、助成に対する返還規定等はどうなっていたのか？

●事務局回答

枝幸町の旧町時代からの助成制度（中小企業活性化助成事業）で、こういったケースは今までになく想定していなかったため、今回の事例を受けて助成規定の見直しを行い 5 年間の制約（返還規定）を設けて対応している。

■委員（意見）

札幌の方と話をした際、カニや海産物がとても好きな方で、こちら方面の道の駅（食べ物）を巡る旅をしていた時の印象として、猿払の道の駅がとても印象に残り、枝幸の道の駅は印象が薄いとのことであった。

また、家族でアウトドアに出かけた際、キャンプを多くする機会があるが、近くに温泉があるキャンプ場は北海道で少なく、旦那がお酒を飲むと近くの温泉まで車で行くことができないので、そういった視点では、今回配布されている観光ビジョンの中にエリアの整備について書かれてあるので、ニュー幸林周辺の未整備エリアをキャンプ場とするのも需要があるのではないかと思う。

■委員（意見）

総合戦略にある「給食の提供範囲拡大」について、長沼高校で勤務していた経験として、長沼高校は全道で初めて学校給食を導入した高校で、現在も全員給食を継続している。隣の浜頓別は、選択制で給食を受けられるが、今後の小中学校の生徒数を見ると選択制ではなく、導入するのであれば全員給食とすることで、給食センターの効率的な運用が図られる。また、選択制で見られる貧富の差などの問題が発生することはないので、参考意見とされたい。